

エネルギー使用合理化等事業者支援事業 成果報告

平成30年度

目次

- **平成30年度エネルギー使用合理化等事業者支援事業の概要**
- **1章 申請・採択等の状況**
- **2章 事業区分ごとの分析**
- **3章 実績省エネルギー効果からの分析**

平成30年度エネルギー使用合理化等事業者支援事業の概要

I.工場・事業場単位			II.設備単位
(ア) 省エネ事業	(イ) ピーク対策事業	(ウ) エネマネ事業	
省エネ率： 1%以上 省エネ量： 1,000kl以上 費用対効果： 200kl/千万円 以上 エネルギー消費原単位改善： 1%以上	ピーク対策効果率： 5%以上 ピーク対策効果量： 190万kWh以上 費用対効果： 80万kWh/千万円 以上 ピーク対策原単位改善： 1%以上	EMSの制御効果と省エネ診断等の運用改善効果を合わせて 省エネ率： 2%以上 ピーク対策効果率： 10%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率照明 ・高効率空調 ・産業ヒートポンプ ・業務用給湯器 ・高性能ボイラ ・高効率コージェネレーション ・低炭素工業炉 ・変圧器 ・冷凍冷蔵設備 ・産業用モータ
補助率 1/4~1/2 (設計費・設備費・工事費)		変更点	補助率1/3 (設備費のみ)
<p>※事業区分 (ア) ~ (ウ) の単独、又は複数の組み合わせで申請可能。</p> <p>※トプランナー制度対象機器を導入する場合、<u>トプランナー基準を満たす機器のみが補助対象。</u></p> <p>※投資回収年が<u>5年以上</u>であること。</p> <p>※「エネルギー使用量が1,500kl以上の工場・事業場等」と「中小企業者に該当しない会社法上の会社(株式会社、合名会社、合資会社、合同会社、有限会社)(みなし大企業を含む)」はエネルギーの使用の合理化等に関する法律(昭和54年法律第49号)に基づき作成した<u>中長期計画等に記載されている事業</u>であること。</p>			<p>※上記の設備区分に該当する設備であって、SIIが定めた基準を満たしていること。</p>

主な変更点：補助率の変更

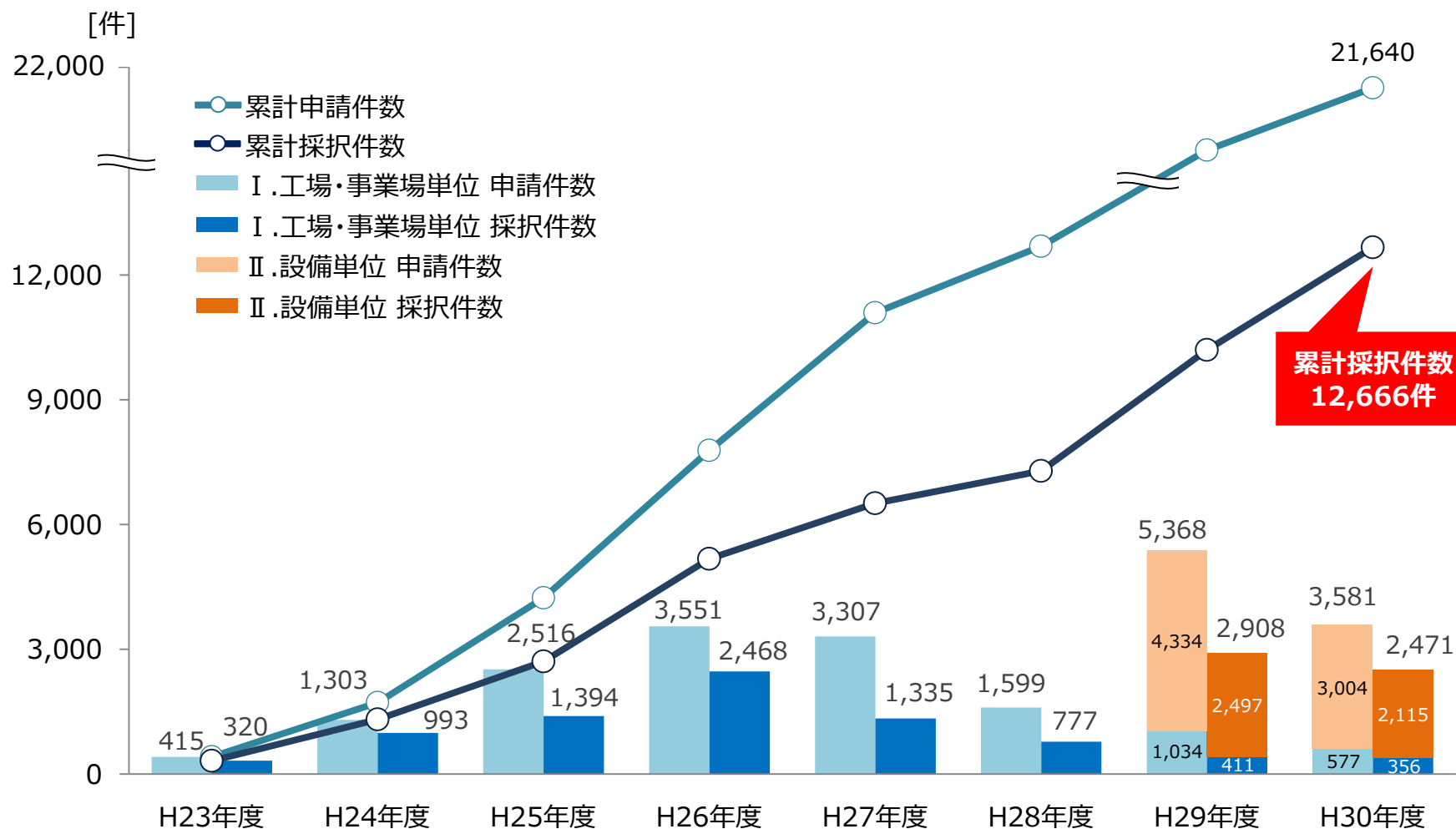
	(ア)・(イ) 単独	(ア)・(イ) + (ウ)	(ウ) 単独
中小企業者 個人事業主 会社法上の会社 以外の法人	1/3以内	1/2以内	1/2以内
上記以外の法人	1/4以内	1/3以内	1/3以内
照明のみを 更新する事業	1/4以内	1/3以内	—
特定要件を 満たす事業 ※申請要件の 1.5倍	省工ネ率：1.5%以上 省工ネ量：1,500kl以上 費用対効果：300kl/千万円以上 1/3以内	効果率：7.5%以上 効果量：285万kWh以上 費用対効果：120万kWh/千万円以上 1/2以内	—

◆ 申請企業の種別等によって補助率が変動

1章 申請・採択等の状況

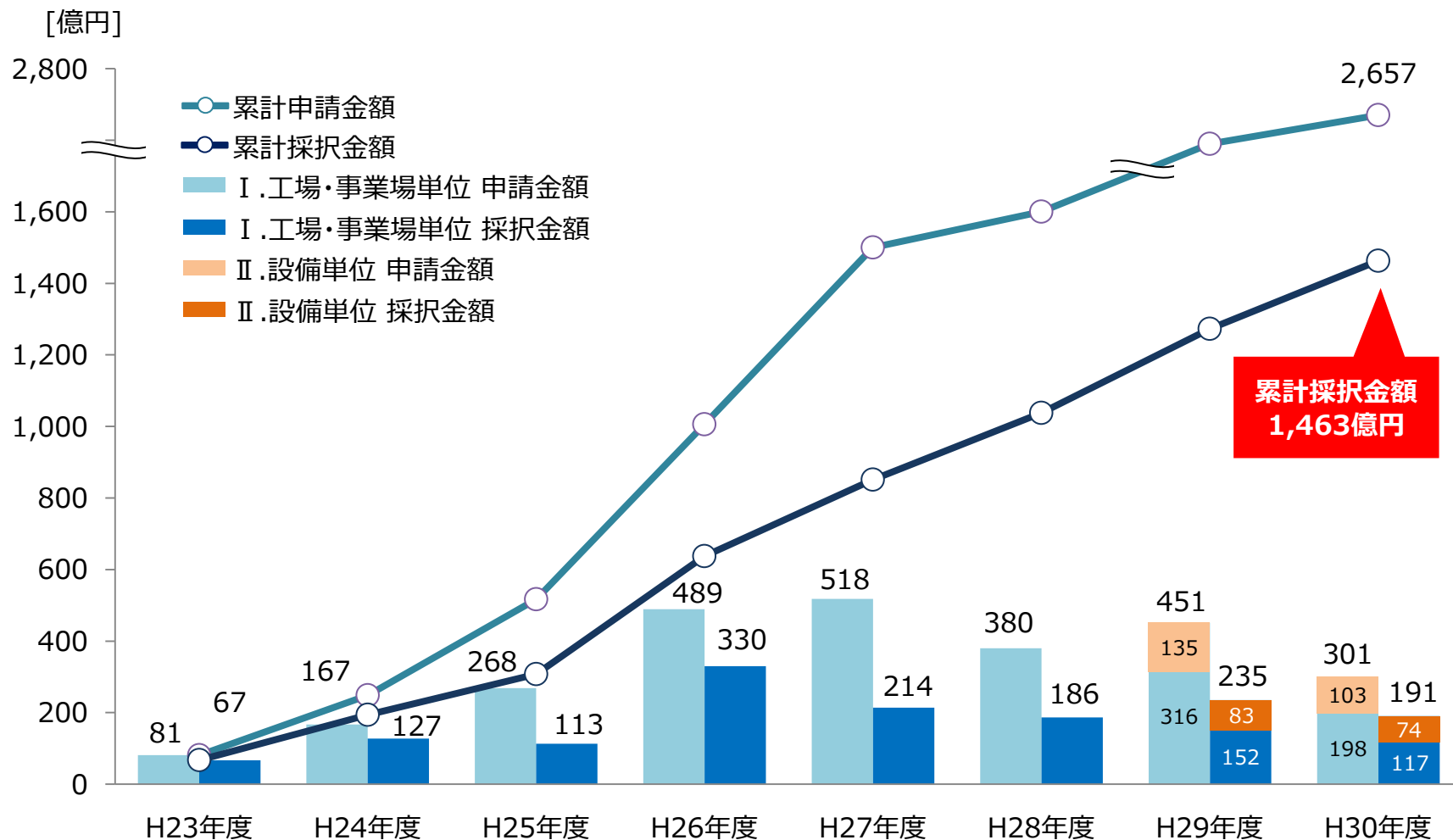
- 1-① 新規事業の申請・採択件数の推移
- 1-② 新規事業の申請・採択金額の推移
- 1-③ 新規事業の中小企業割合

1-① 新規事業の申請・採択件数の推移



◆ H23～H30年度における累計の申請件数は、**約21,600件**。
 累計の採択件数は、**約12,700件**。

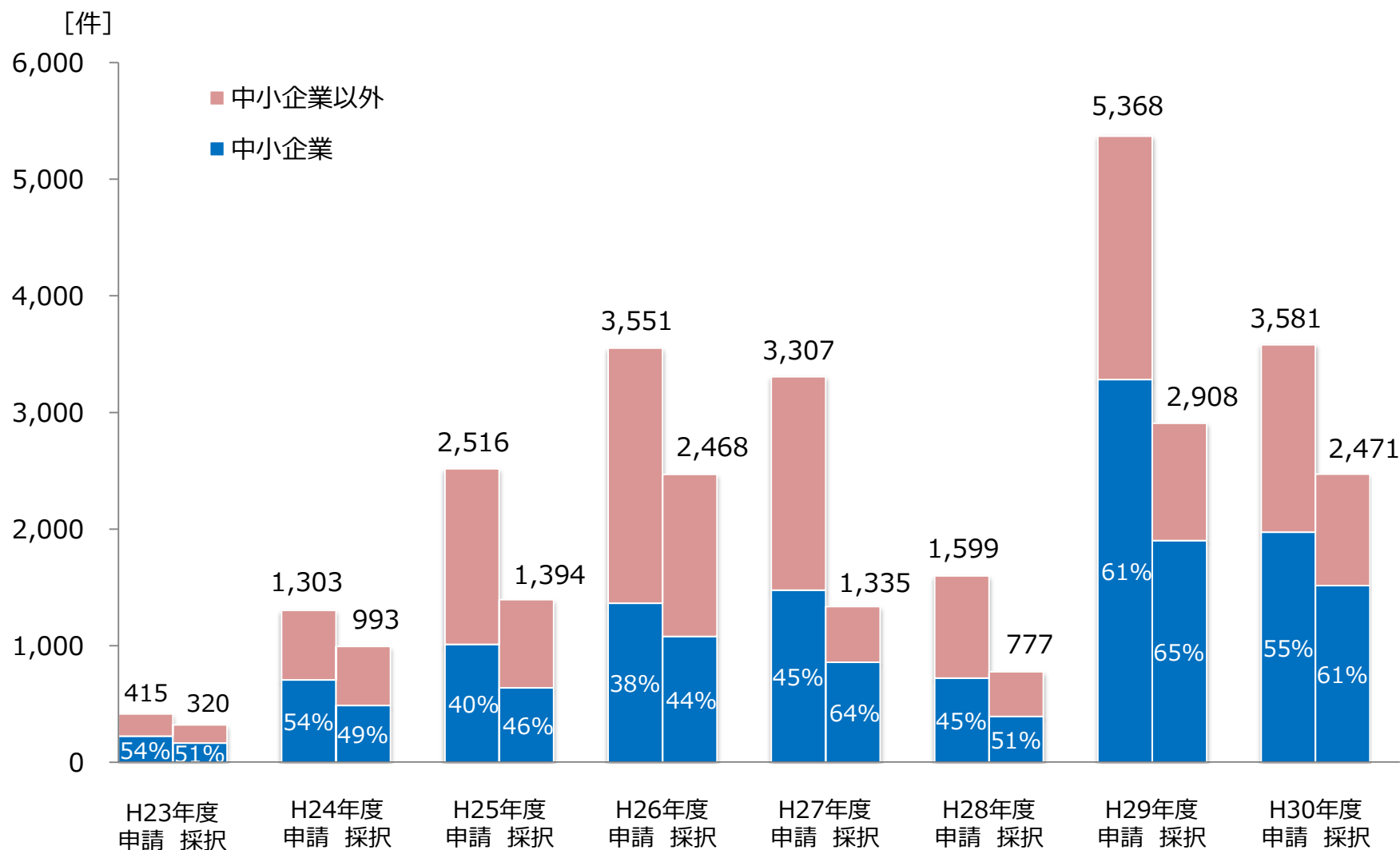
1-② 新規事業の申請・採択金額の推移



◆ H23～H30年度における累計の申請金額は、約2,657億円。
 累計の採択金額は、約1,463億円。

※複数年度事業は初年度の補助金額のみを計上。(2年目以降の補助金額は含まず)

1-③ 新規事業の中小企業割合

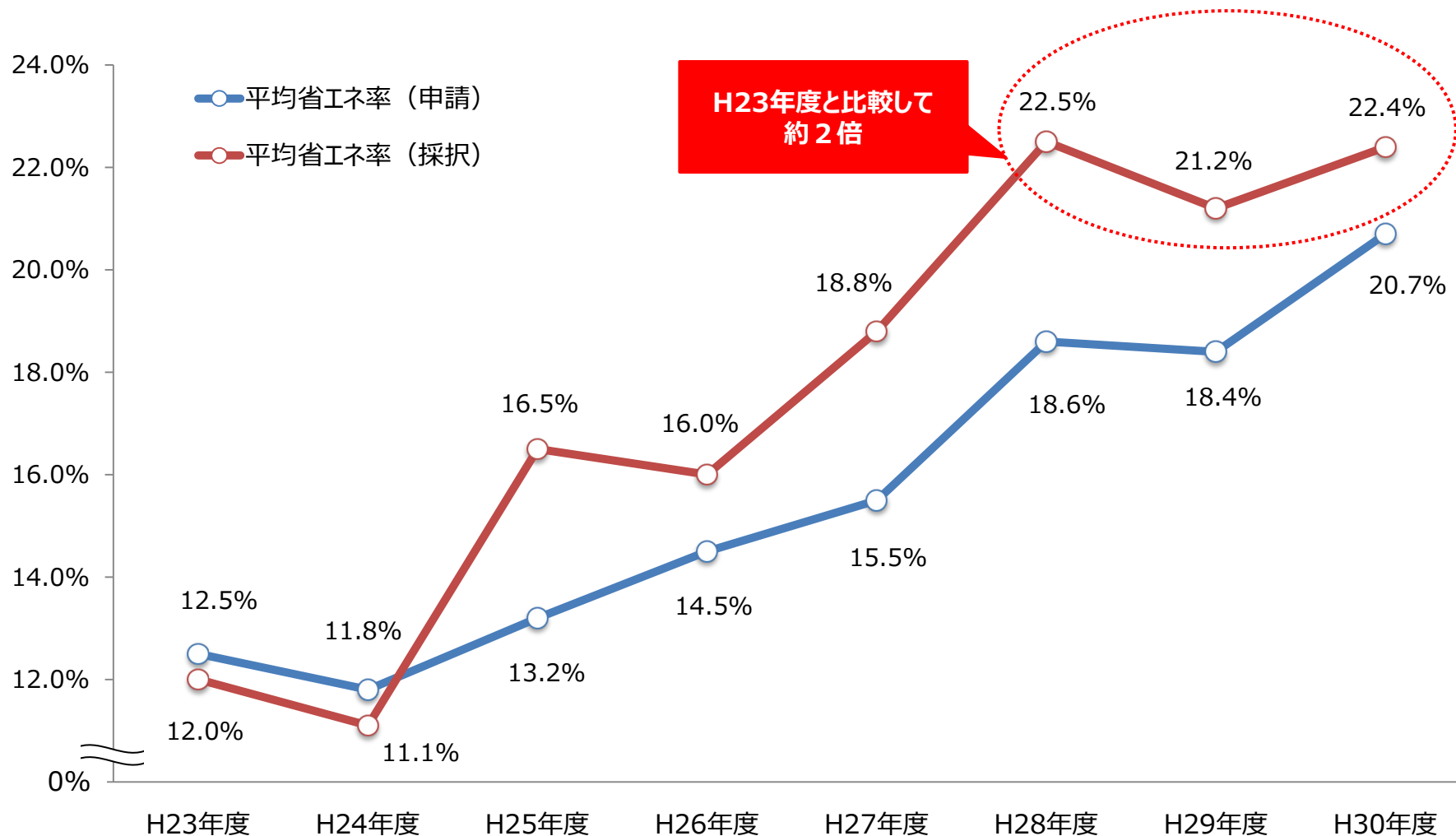


◆ 申請・採択とも、約半数が中小企業。

2章 事業区分ごとの分析

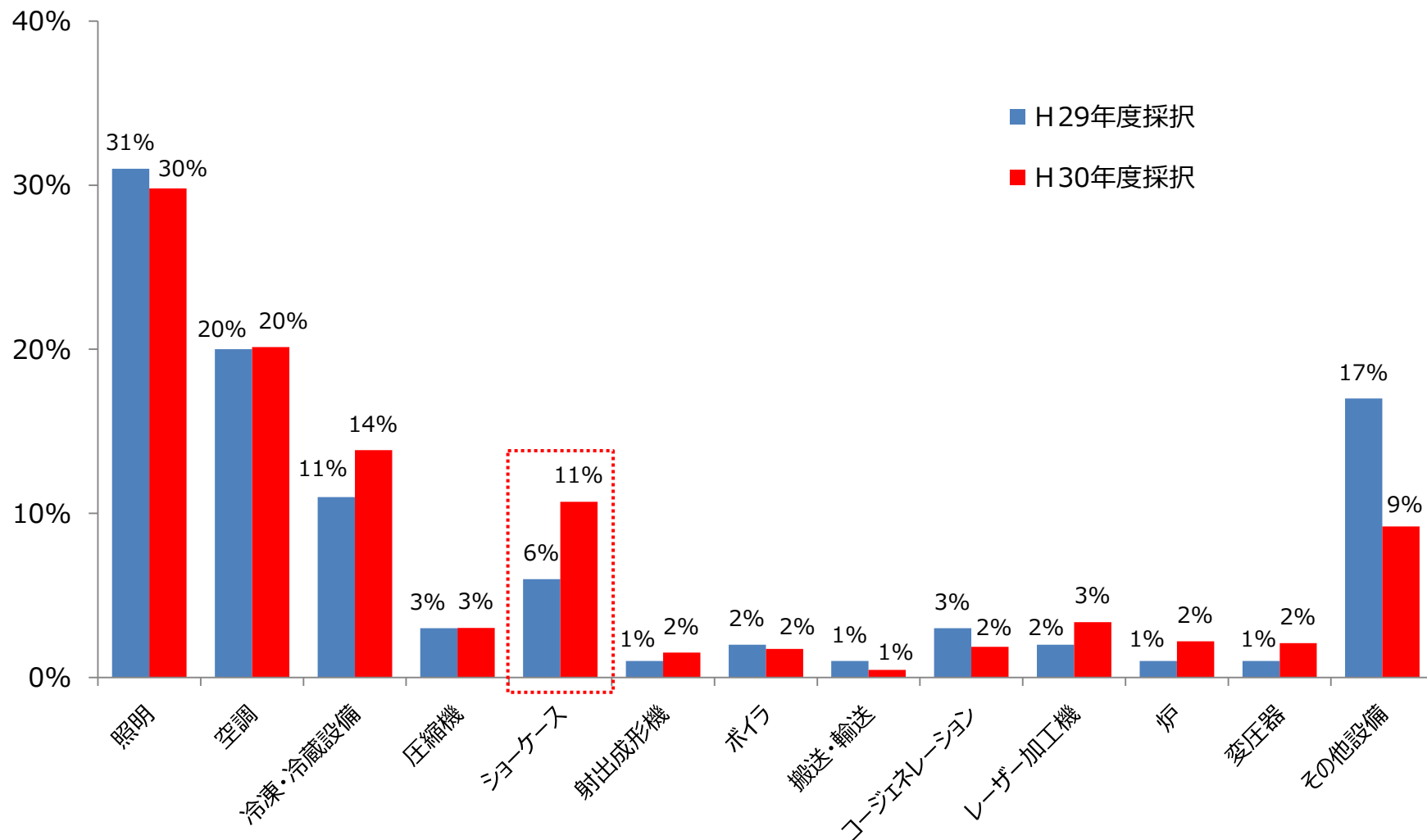
- 2-① I.工場・事業場単位の平均省エネルギー率
- 2-② I.工場・事業場単位の更新設備比率
- 2-③ II.設備単位の申請・採択等の状況
- 2-④ II.設備単位の設備別平均省エネルギー率
- 2-⑤ II.設備単位の設備別平均省エネルギー量
- 2-⑥ II.設備単位の設備別平均費用対効果

2-① I.工場・事業場単位の平均省エネルギー率



◆採択事業 1 件当たりの平均省エネルギー率は、H 2 3 年度比較で約 2 倍。

2-② I.工場・事業場単位の更新設備比率



◆新たにトップランナー制度の対象となった、ショーケースの申請が増加。

2-③ II.設備単位の申請・採択等の状況

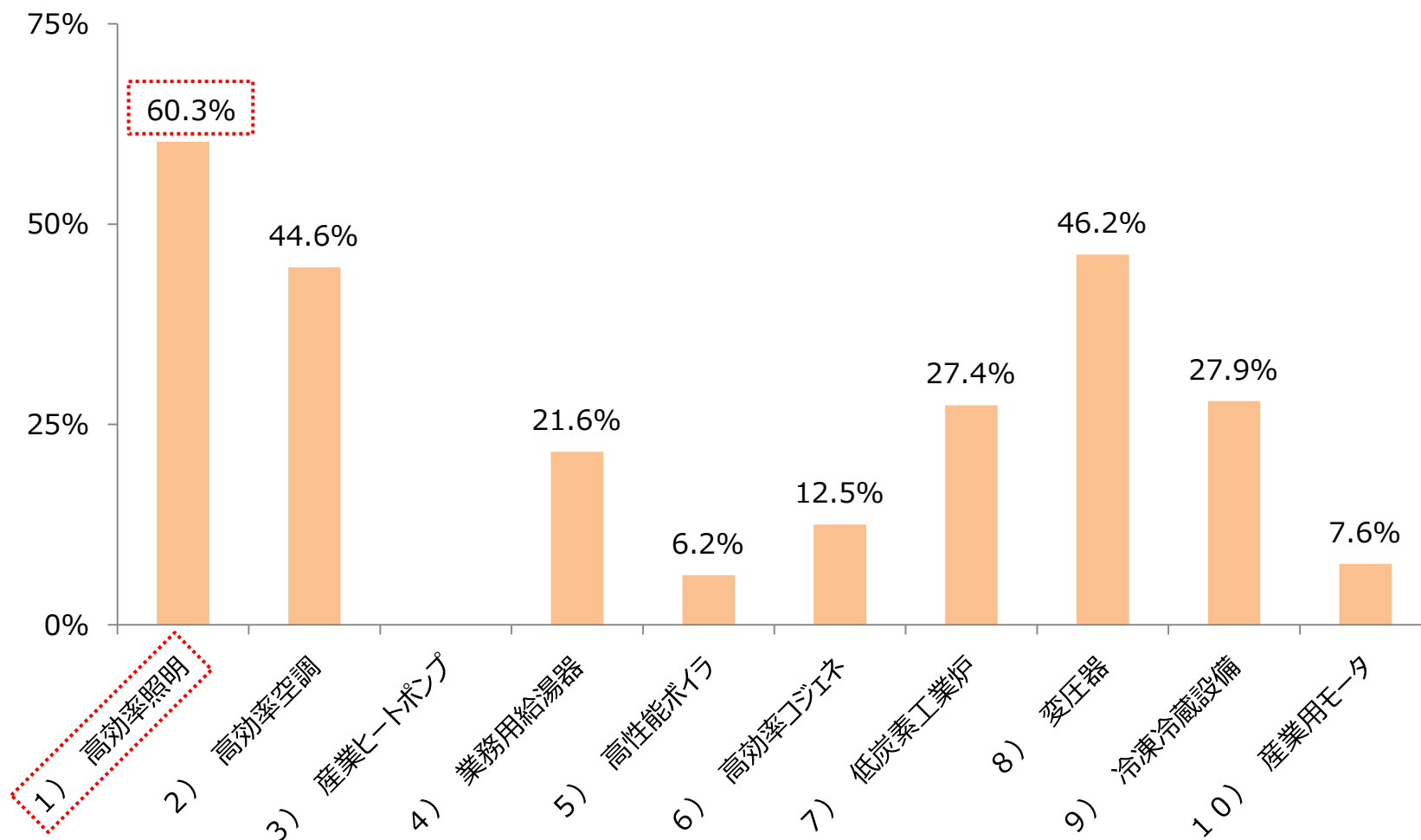
設備区分	申請件数	採択件数	採択率	平均省エネ率	平均省エネ量	平均費用対効果 (kl/千万円)
高効率照明	1,499	1,098	73.2%	60.3%	23.1kl	675.0
高効率空調	1,202	827	68.8%	44.6%	16.3kl	182.3
産業ヒートポンプ	2	1	50.0%	*	*	*
業務用給湯器	24	16	66.7%	21.6%	7.3kl	317.7
高性能ボイラ	268	183	68.3%	6.2%	25.3kl	194.2
高効率コジェネ	3	3	100.0%	12.5%	1.1kl	43.8
低炭素工業炉	18	14	77.8%	27.4%	71.5kl	211.7
変圧器	186	127	68.3%	46.2%	6.1kl	215.1
冷凍冷蔵設備	103	68	66.0%	27.9%	19.4kl	245.0
産業用モータ	98	70	71.4%	7.6%	7.3kl	130.6

※ 省エネ率、省エネ量、費用対効果の平均値は、採択事業における各申請の合計値を採択件数で割った値

※ 産業ヒートポンプは採択件数が1件であるため非公開

2-④ II.設備単位の設備別平均省エネルギー率

※採択事業ベース

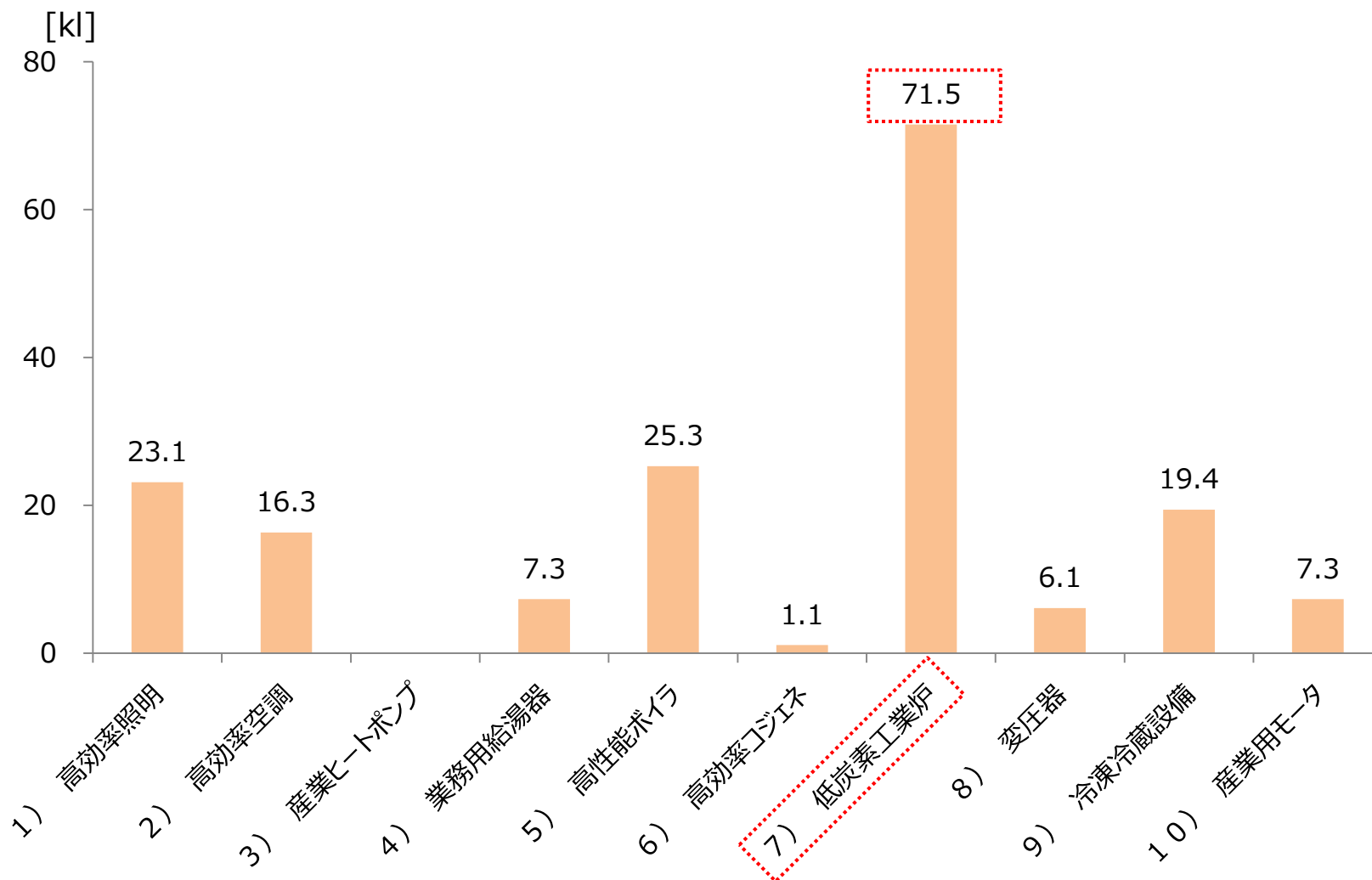


◆高効率照明の平均省エネルギー率が高い。

※産業ヒートポンプは採択件数が1件であるため、非公開

2-⑤ II.設備単位の設備別平均省エネルギー量

※採択事業ベース

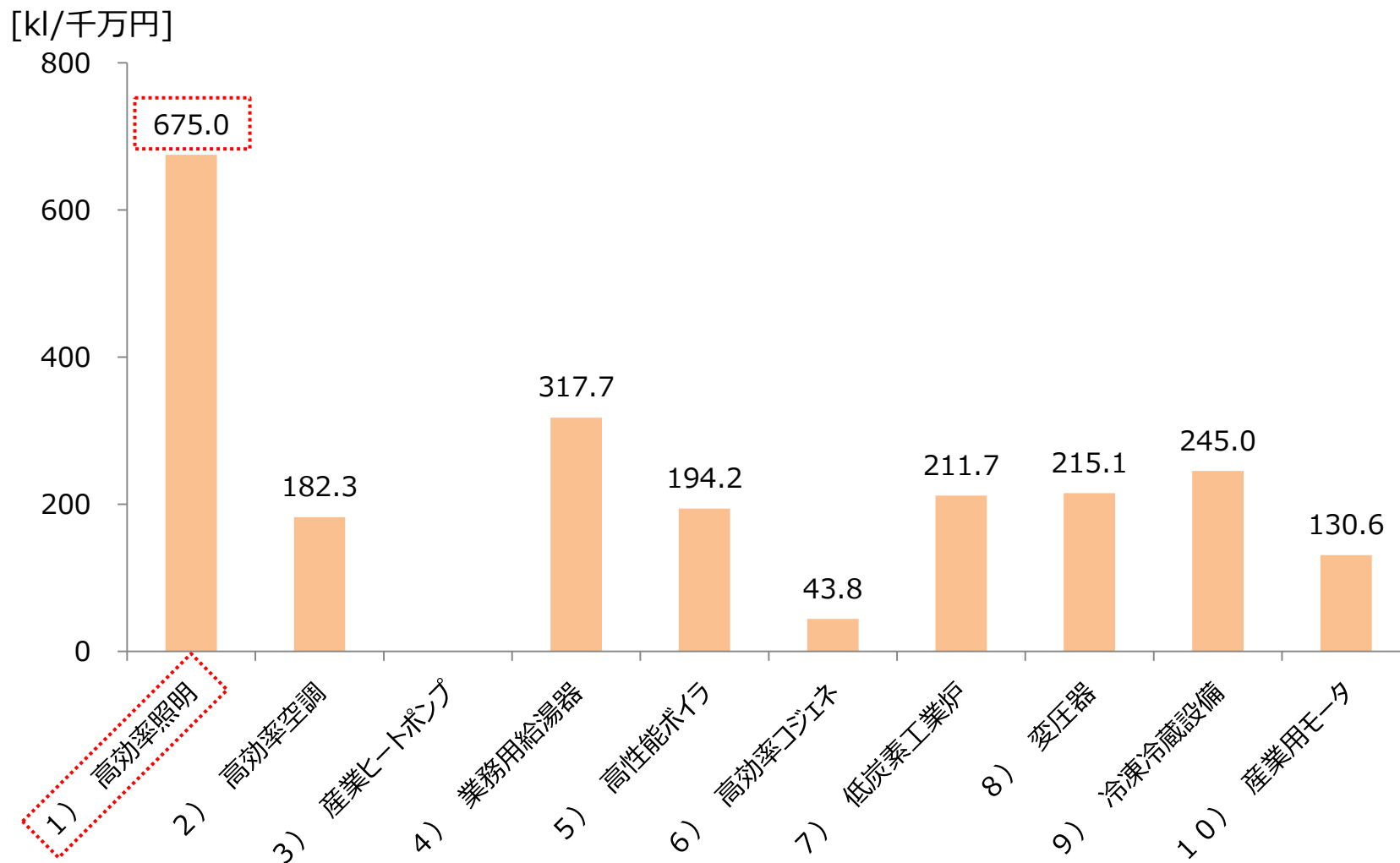


◆低炭素工業炉の平均省エネルギー量が大きい。

※産業ヒートポンプは採択件数が1件であるため、非公開

2-⑥ II.設備単位の設備別平均費用対効果

※採択事業ベース



◆高効率照明の平均費用対効果が高い。

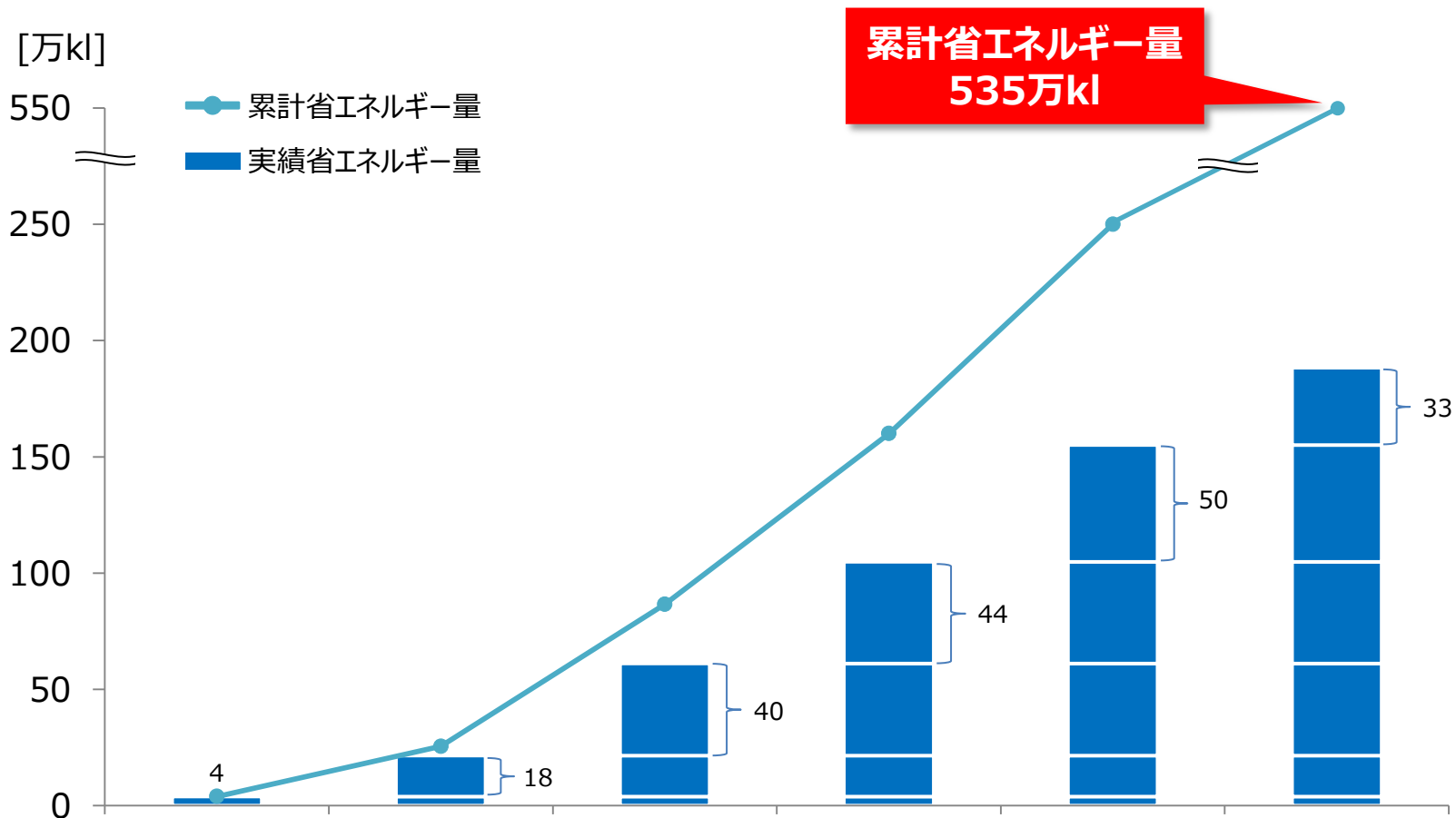
※産業ヒートポンプは採択件数が1件であるため、非公開

3章 実績省エネルギー効果からの分析

- 3-① I.工場・事業場単位の実績省エネルギー量
- 3-② I.工場・事業場単位の業種別構成比
- 3-③ I.工場・事業場単位の業種別実績値
- 3-④ I.工場・事業場単位の業種別平均値
- 3-⑤ I.工場・事業場単位の事業所規模別の平均値

※事業完了後、補助事業者が一年間の省エネルギー量を計測して、SIIへ成果報告を行った数値を集計

3-① I.工場・事業場単位の実績省エネルギー量



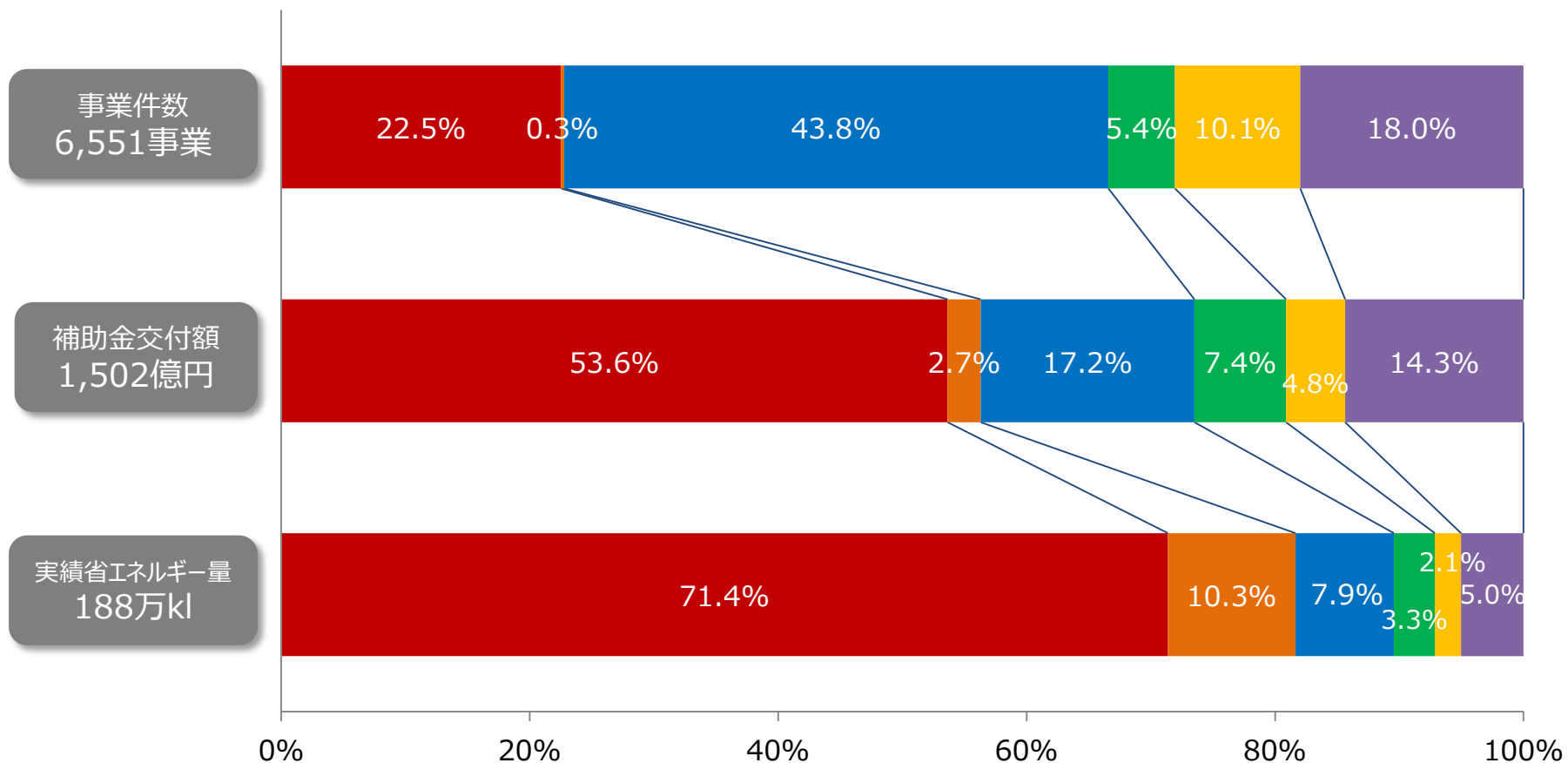
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
実績省エネルギー量 (万kWh)	4	22	61	105	155	188

※事業完了後、補助事業者が一年間の省エネルギー量を計測して、SIIへ成果報告を行った数値を集計

3-② I.工場・事業場単位の業種別構成比

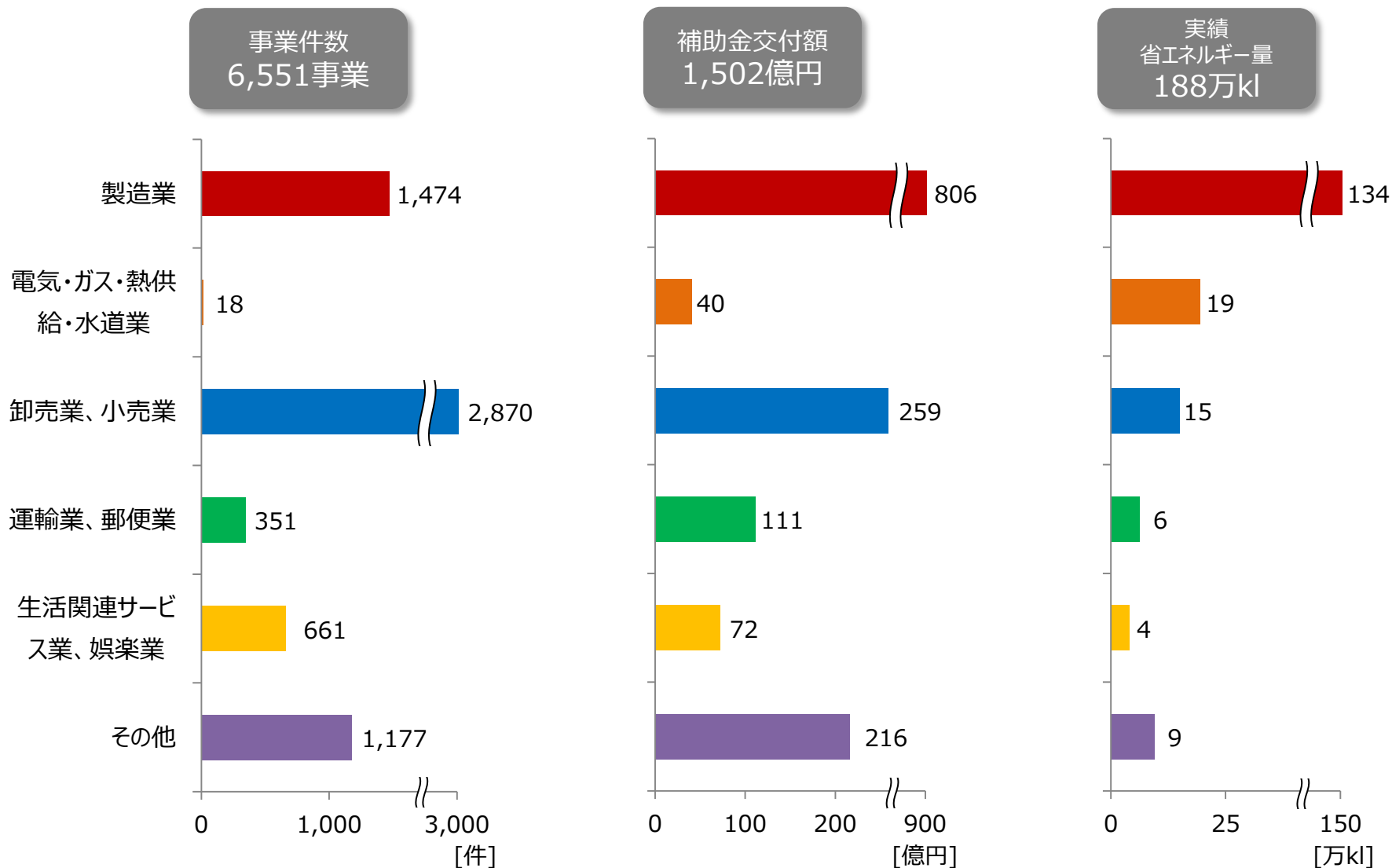
◆業種ごとに分けてみると…

■ 製造業 ■ 電気・ガス・熱供給・水道業 ■ 卸売業、小売業 ■ 運輸業、郵便業 ■ 生活関連サービス業、娯楽業 ■ その他



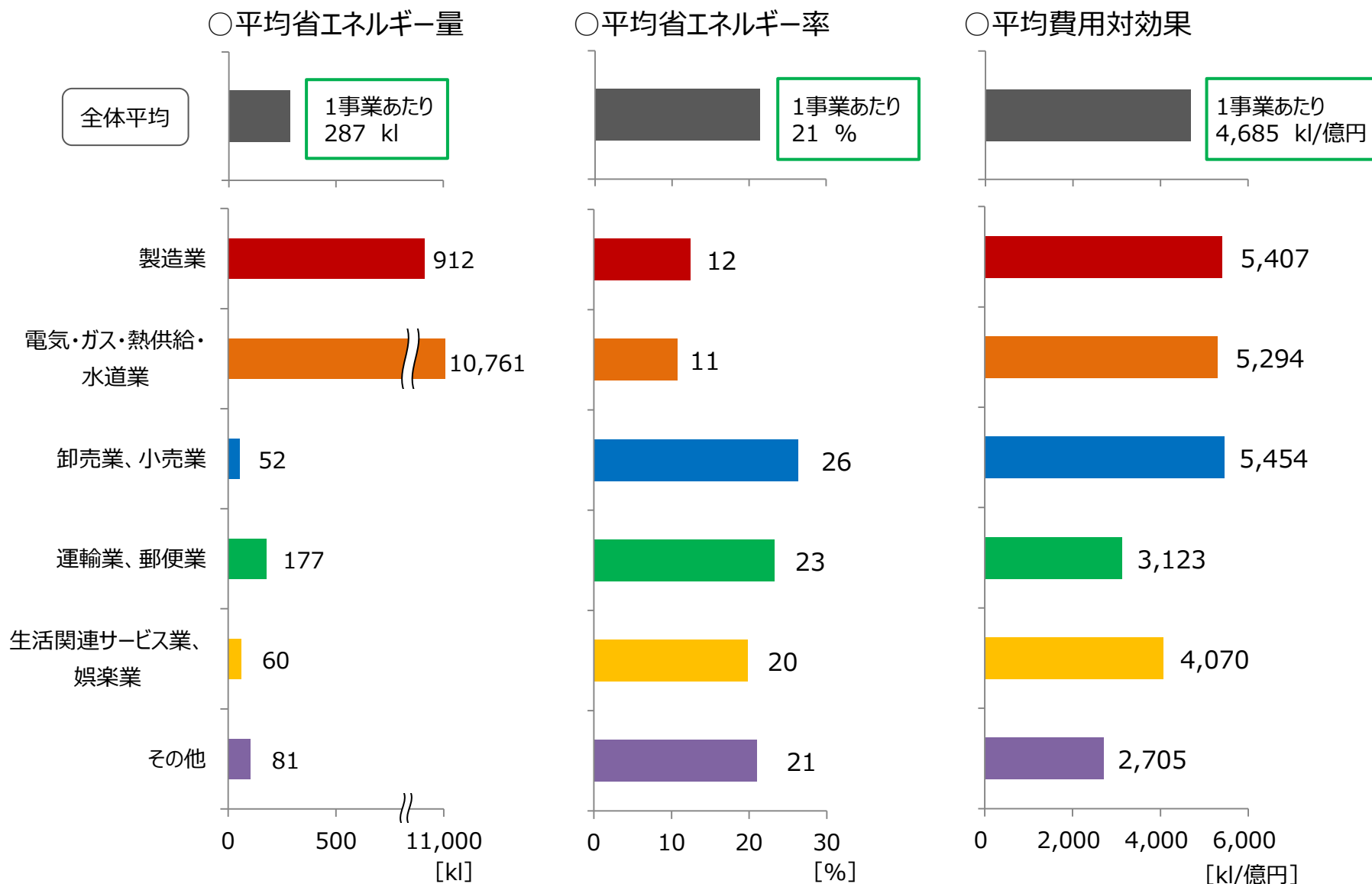
※事業完了後、補助事業者が一年間の省エネルギー量を計測して、SIIへ成果報告を行った数値を集計

3-③ I.工場・事業場単位の業種別実績値



※事業完了後、補助事業者が一年間の省エネルギー量を計測して、SIIへ成果報告を行った数値を集計

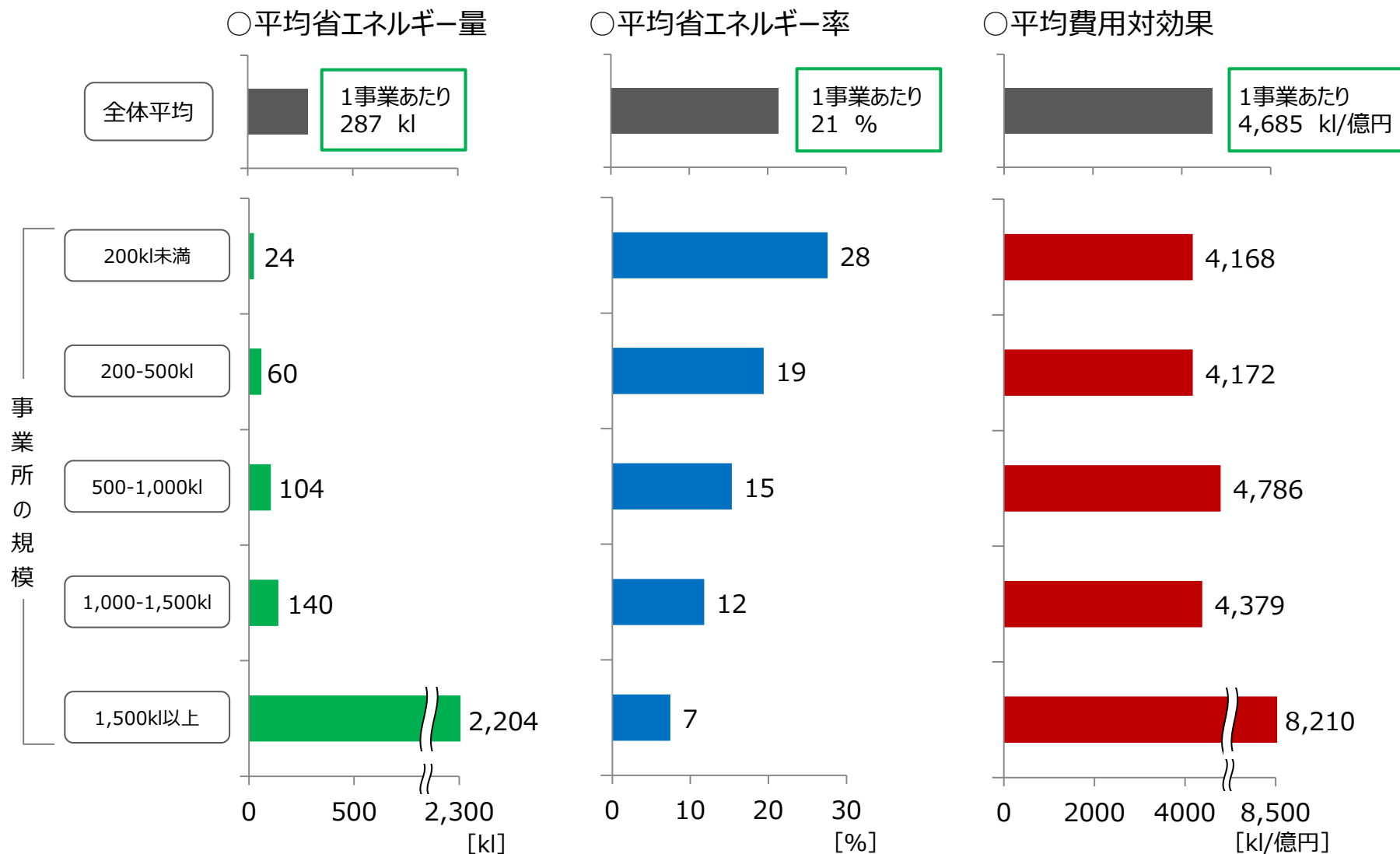
3-④ I.工場・事業場単位の業種別平均値



※事業完了後、補助事業者が一年間の省エネルギー量を計測して、SIIへ成果報告を行った数値を集計

3-⑤ I.工場・事業場単位の事業所規模別の平均値

◆事業所の規模ごとに分けてみると…



※事業完了後、補助事業者が一年間の省エネルギー量を計測して、SIIへ成果報告を行った数値を集計



一般社団法人

環境共創イニシアチブ

Sustainable open Innovation Initiative